

資料番号	7
------	---

令和6年5月17日
課名 商工労働局イノベーション推進チーム
担当者 担当課長 門永
内線 3354

令和5年度「イノベーション・ハブ・ひろしま Camps」の運営状況について

1 要旨

令和5年度のCampsの運営状況について報告する。

2 運営状況

(1) 運営体制について

H29～R3（5年間）	R4～
(株)Hint（施設管理） 有限責任監査法人トーマツ（相談対応）	(株)エル・ティー・エス（LTS） （施設管理・相談対応）

(2) 利用者数

利用者数は、徐々にコロナ禍以前の状況に回復しており、力を入れている個別相談は年間1,064件と昨年度の約2倍の件数となった。そのうちマッチング数も84件（双方の事前合意に基づく会員間のつながり）に達している。

（単位：人）

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
利用者数	10,537	10,376	10,132	3,341	1,208	6,418	7,901

※ イベントの参加者を含む。

(3) 運営状況

令和5年度もコミュニティマネージャー（今井恭子）とスタートアップアドバイザー（星山雄史）による利用者寄り添った親身な接客・相談対応が好感を得ており、利用者数・相談数ともに増加傾向にある。

【個別相談の事例】

- ・セディカル株式会社とナオライ株式会社のマッチングによる浄耐を使用したボンボンショコラが企画により実現
- ・自分塾（RING HIROSHIMA 採択者）を東洋電装株式会社と繋いで中高生向けのものづくり職業体験を実施

【Camps アクセラレーションプログラム（CAP）の結果】

トップクライム（5者）とベースキャンプ（10者）の2部門で15者を採択し、7月から約4カ月間を伴走、12月に最終成果発表会を実施

ベストトップクライム賞	千田 太志さん	海外進出支援プラットフォームの構築
ベストベースキャンプ賞	勝瀬 祐介さん	広島式“非公式”教育実習プログラムの開発・展開
ナイスコラボレーション賞	樋口 礼音さん	東広島市活性化プロジェクト

【Camps の主なイベント】

- ・地域が直面する課題に子どもたちが解決策を立案する JA 食農教育プロジェクト「起農みらい塾」
- ・株式会社モルテンと株式会社G0の代表によるトークセッション（3月 Camps MeetUP） など

3 令和5年度予算

「イノベーション・ハブ・ひろしま Camps」管理・運営事業 （61,360千円）

（Camps に常駐するコミュニティマネージャー・受付等の人件費、Camps アクセラレーションプログラムの事業費、賃料、光熱水費等）